

特集
雑誌

自由国民

昭和卅四年六月十日発行
昭和廿四年四月十日国鉄
特別扱承認雑誌第九七四号

特別号



自由国民社
発行

現代用語 の基礎知識

時代の動きを反射して成長する新語年鑑

1959年版

中村哲
辻清明
鶴飼信成
横田喜三郎
高木惣吉
高島善哉
鈴木武雄
山口茂
上坂西三
野田全治
近藤康男
大河内一男
宮川実

時局用語

る解説

五十氏によ

各界の権威

朝比奈貞一
辻村太郎
湯浅明
高橋吉定
平井信義

科学用語

服部良一
吉田秀和
今泉篤男
本多顕彰
江上波夫
西岡虎之助
林健太郎
戸川行男
宮原誠一
岸本英夫
高桑純夫

文化用語

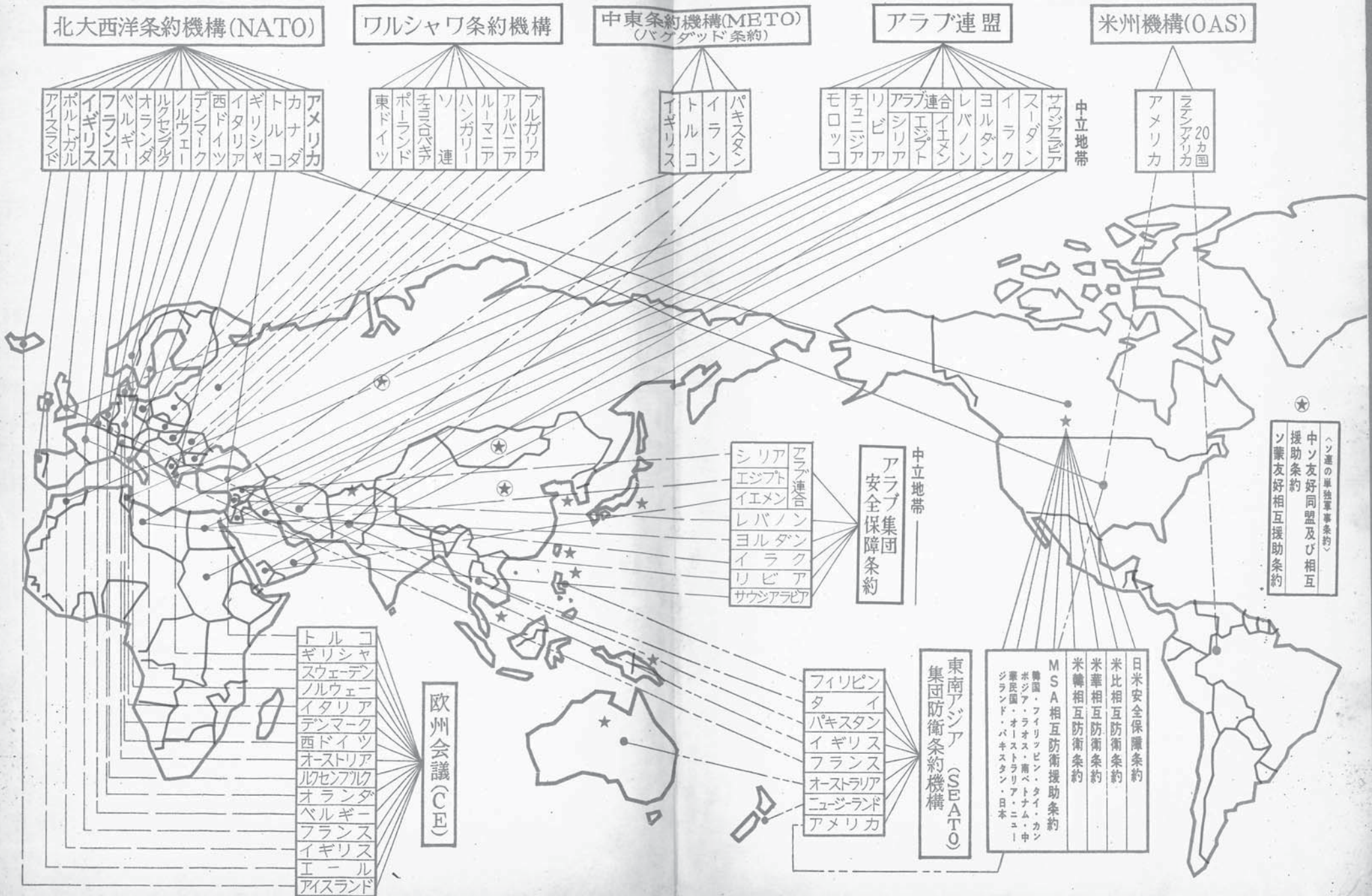
矢野目源一
今和次郎
黒田初子
マダム・マサコ
山野愛子
井上勇
吉田健一
池田雄蔵

内村祐之
織田幹雄
春日由三
新井正義
山田肇
津村秀夫
大宅壮一

日常用語

宮本高明
萩原雄祐
和達清夫

東西対立の政治・軍事機構



風俗・社会

月給二倍論 自民党の池

田勇人氏が、昭和三十四年二月二十四日関西財界人との懇談会で唱えたもの。その要点は積極的財政経済政策をとつて国内需要の増進をはかれば生活水準は二倍にも三倍にも上る、つまり生産性を上げてゆけば、それに伴つて賃金を今の二倍に引上げることにも可能だといふのである。

チャイルド・ウーマン

(Child-Woman) まだ子供ッ気が抜けきらぬ童顔の下に悩ましい女臭さをただよわす肉体の所有者。いわば小妖精の雰囲気と、カラッと清潔な体臭を兼備した女性をいう。ひと頃の、なんでも巻尺を当てなければ気のすまぬグラマリーにとつて代つて、ジャクリヌ・ササールを代表選手とするパスカル・プティ、ミレーヌ・ドモンジョなどが、この範ちゆうに入る。日本の銀

幕から拾えば、団令子(東宝)、桑野みゆき(松竹)、浅丘ルリ子(日活)といったところ。

ササール・スタイル (Sasara Style)

昭和三十三年輸入されたイタリア映画「芽生え」に主演したハイテイーン女優ジャクリヌ・ササールをまねたスタイル。清純でオキヤンな気まぐれ娘を演じたこの女優が、躰にピツタリついたセーターと、タイツ姿という飾り気のないボーイッシュなスタイルで登場、費用のかからぬ点からも、日本はいうに及ばず、世界のテイーン・エイジャーの服装に一大変革をあたえた。別名をジャクリヌ・スタイルという。

特別規格酒

アルコール分は今の二級酒より多少少ないが、税金が安く従つて値段も割安という新しい規格酒。第三十一国会で酒税法が改正されると発売の予定。従来の法律で決められている清酒の規格は、特級酒がアルコール分十六度以上、原エキス分三

十度以上で芳じゆん、優秀なもの。一級酒が同じくアルコール分十六度以上、原エキス分二十九度以上で品質優良のもの。二級酒がアルコール分十五度以上、原エキス分二十六・五度以上のものとなつてゐる。これに対し新規格の特級規格酒はアルコール分十三度以上で、二級酒よりも低いものであるが、税金はいまの二級酒よりだいたい一〇%程度安くなる見込み。つまり「準二級酒」ともいふべきもの。

ヘビー・ビューアー (Heavy Viewer)

テレビを見すぎ子どものこと。テレビ・チャイルド (Televie Child) ともいう。文部省の調査委員会が調べたところによると、幼稚園から小学校へ行つてゐる児童のテレビを見てゐる時間は、平均して一日に二時間から五時間ぐらいで、五時間以上も見てゐる「ヘビー・ビューアー」は全体の二〇%もあるという。中学生や高校生の場合はそれより少し短かく平

均して一時間から三時間、だから三時間以上見ている生徒は「ヘビー・ビューアー」ということになり、その率はテレビを見てゐる生徒全体の一〇%ということになつてゐる。これらの「ヘビー・ビューアー」は勉強をなまけるとか、学校の成績が落ちたかというところ、かならずしもそういう結果は出ていないようである。

戦時死亡宣告 生死不明

のまま消息の全然わからない太平洋戦争の未帰還者が三万六千余人もいる。こうした人たちの家庭は留守家族援護法によつて若干の手当が支給されてきたが、困窮者も多い。そこで終戦後十四年もたつた今日消息不明のものについては、厚生大臣がその留守家族の意向を聞いた上「戦時死亡宣告」を行い、戸籍面からまつ消し、遺族に対し弔慰金を支給することになつた。そのため第三十一国会に「未帰還者に対する特別措置法案」を提出し、法律上の手続きをと

つた。

戦没者墓苑

第二次大戦

中に戦死した身元や身寄りのわからない無名戦士の墓。東京九段の靖国神社に近い千鳥が淵公園にでき、昭和三十四年三月二十八日完工式と合わせて追悼式が行われた。墓は建坪二百八十四平方尺、高さ五・五尺の六角塔で、この中に遺骨を入れた約八十名の骨壺十八個が収められている。この墓の建立は昭和二十八年吉田内閣のときに決められたがその後主として予算などの関係からおくれ、三十三年七月やつと着工されたもの。総工費は四千八百万円。

小桜の塔

沖繩の那覇市

護国寺境内に建てられている戦没学童の慰霊塔。昭和十九年八月十九日那覇から鹿児島に向つた疎開船対馬丸(約八千トン)が、大島群島十島村悪石島沖で米潜水艦の急雷攻撃を受けて沈没、甲板にいた数百人を除いて学童七百余人を含む千余人が船と運命を共

にした。その霊を慰めるために日本内地の学童たちが資金を集め、セメントや鉄筋などの資材を買つて送り、建てられた。その後昭和三十三年來沖繩の小、中学生約十三万人が一セント(三円六十銭)ずつ出し合つて改修計画が進められた。

諏訪メモ

松川事件(その

項参照)の審理中間題となつた証拠物件の一つ。昭和二十四年八月十五日東芝松川工場で団体交渉が行われたとき当時同工場庶務課長代理をしていた諏訪親一郎氏と同社員二人がメモしておいた団交経過の記録である。この中に二審で死刑の判決を受けた佐藤一被告の名が出ており、これが共同謀議に参加していなかつたというアリバイになると弁護側が主張した。

松川大行進

松川事件

(その項参照)の無実を世間に訴えようと総評や松川事件対策協議会が主催で、昭和三十三年十月二十二日出発、仙

台東京四百*を各県代表や被告の家族が行進した。

一万元入札

昭和三十三年

年末新東宮御所の請負工事入札に際し、間組が工事実費を無視してわずか一万元で落札したことが問題となり非難の声が高まつた。結局間組は入札を自発的に辞退し、新たに大建設七社の共同請負に決まつた。

申合せ定年

申合せによ

り「満何歳になつたら円満退職する」という取決め。民間の会社にはたいてい五十五歳とか六十歳で定年という規定ができてゐる。ところが国家公務員や地方公務員にはそうした規定がないから、いくら年をとつても勤められるのだが、しかしそれを無制限に認めてゐると若い者の職場を狭くするし、能率が落ちる。そこで最近この申合せ定年を行つてゐるところが多い。これは法律ではないから強制力がなく、もしこの申合せに該当するものが法をタテにとつて

提訴する場合にはむろん申合せは無効になつてしまふ。昭和三十三年十月仙台地裁がその新判例を下した。

家族保険制度

一家全部

がまとまつて簡易生命保険に入れるという制度。一家の主人か主婦が保険を契約すると契約者は六十歳の満期養老保険、配偶者は六十歳、子どもは二十歳までのそれぞれ定期保険となる。契約後に生れた子どもはむろん自動的に被保険者になる。契約者の保険金は最高二十五万円、満期になるかその間に死亡した場合に限り、それぞれ契約額の四割、二割だけ支払われる。つまり配偶者や子どもの定期保険は満期までに死亡しなければ保険料は掛け捨てになる。

塔屋(とうや)

ビルの屋

上にあるコブのような建物。エレベーターの機械や地下水の貯蔵タンクあるいは暖冷房設備などが納められている。建築基準によつてビルの高さは三十一メートルまでと決つてゐる

子楽器。打楽器、弦楽器はもろろん、大規模な交響楽まで実際の演奏と変りない程人工的に合成することが出来る。

むしろ世界でも初めて。これまでもアメリカのRCAなど音の合成装置はできていたがこれは音符をテープにとつて合成したものである。エレクトーンは、音の周波数や基音、倍音、減衰などを電子的に合成したものである。その構造はピアノのようなケン（鍵盤、ペダルケン盤、リズム・ボタン、リズム・ペダルなどの演奏装置、マイクروفフォン十五個を配した拡声装置から成っている。ほとんど原音に近い音色を出せるところに特色がある。

ポリ尿素繊維 トール油、鯨油、米ヌカ油などを分解しそれに尿素を混ぜて樹脂繊維とした新しい合成繊維。特色としては毛に近く、ナイロンよりも軽くてシワになり難い、染色性がよいなど従来の合成繊維にない性質をもつて

いる。わが国では東洋高压が初めてつくり、昭和三十四年一月から売出した。

サザランド杯 ロンドン
のナショナル・フィルム劇場で上映されたその年の最優秀映画に贈られる賞。一九五八年の第一回は日本映画小津安二郎監督の「東京物語」がこれを獲得した。サザランドはこの劇場の母体である英国映画研究所名誉会長の名をとつたもの。

エバー・オンワード (Ever Onward) アジア競技大会の標語。限りなき前進」という意味。一九五一年第一回大会がインドの首都ニューデリーで開催されるに先だち、その母体としてつくられたアジア競技連盟の総会で大会旗とともにこの標語が決つた。スポーツを通じてアジア諸民族が堅く手を握り、肉体的にも精神的にも限りない前進をつづけて行こうというのが趣旨である。大会旗は、太陽の下に丸い輪が連ねてあ

り、この輪の数は参加国の数と一致していて、参加国がふえれば輪もふえるようになってる。

ヒマルチヨリ 世界の屋根ヒマラヤにあるマナスル三山の一ツ。また誰も征服したことのない処女峰。これに對して日本山岳会は、村木潤次郎氏を隊長として八人の登山隊を編成し、昭和三十四年三月から四月にかけて登頂を試みた。

愛の鐘 青少年の不良化防止を呼びかける、愛の鐘を鳴らそうという運動が、昭和三十二年まず東京の池袋で起つた。区役所などの屋上に鐘をとりつけて一定時刻に打ち鳴らすというもの。この運動は婦人会などの手によつて次から次へと広がり、全国的な運動になつてゐる。

容体操にもつてこいというので、一九五七年夏まずオーストラリアで流行、次いでアメリカ、日本とはやつてきた。日本では五八年秋一時、フー・プームを呈したが弱い子供があまり熱中してやつたため腸に穴があいたとか輪のつぎめがはずれて目を突いたとかの障害が続出したため、間もなく下火となつた。フラダンスのように腰を振つて輪を回すところからこの名が出た。

クラッカー (Clacker) パチパチ鳴らすおもちゃ。最近主としてクリスマスなどに使う三角スイ型の紙火薬をいう。

フライアッシュ (Fly-ash) 石炭の燃えかす。セメントに混ぜてダム建設や道路工事などに使う。新しい火力発電所などでは、近ごろ石炭を細く砕いて燃料としているが、その燃えかすは固まつて小さな球状の粉末となる。これがフライアッシュ。いわば

人工の火山灰で、コンクリートに無くてはならぬ材料となつている。

ながら神経症 ラジオのジャズを聞きながらでないといふ、一方で何かの機能を働かせていないと精神の集中ができないというノイローゼ。まくら元に本を積み重ねておこなう「儀礼神経症」の一種であるが、木田文夫氏（日本医大教授）が「ながら神経症」と名づけてから一般化し、教育界でも問題にされている。しかし、周囲の雑音を音楽でシャ断するという意味もあるうし、精神の緊張と、別な方面での多少の緊張によつてバランスをとるといふ効用もあつて、いちがいに病的といふわけにもいかないといふ。現に調査の結果、ながら神経症患者のなかにも、秀才がたくさんいることがわかつた。

三十息子 三十娘の対語

だが、これが一種の戦争犠牲者であるのに対して、三十息子の方は同年輩の世帯持ちから幾分の羨望をもつて、そして未婚の女性からはそこばくの憎しみをもつて、こう呼ばれる。買出しや配給物受取りの心配はなし、靴下つぎや外食券食堂のわびしさもないきようこのごろ、なにを好んでわれから自由を放棄するいわれがある、というのがその言分で、親許を離れて小じんまりしたアパートに住み、小遣いは一万円から二万円、おでん屋の代りにバー、キャバレーで遊び、月数回の情事を楽しむというのが、その一般的生態である。

テレビ・ジプシー テレビのある家を順ぐりに訪れて歩く、子供たちのグループ。一軒の家にばかりいすわつているわけにもいかないの、いわばテレビのハシゴをして歩くわけ。テレビのない家では子供たちが夜も家におちついていないし、テレビのある

うちは夜の団ランを乱されるので、テレビがいまのように一家一台にまで普及する以前のアメリカで、ちよつとした教育問題、社会問題になつたが、いまの日本がちよつとこの段階にある。

ブレイン・ストーミン

グ (brain storming) 脳乱などという奇妙な訳語がつけられていくが、れつきとした経営学用語である。従来の会議とちがつてメンバーも一定せず、一切の因襲をすてて出席者一同に無礼講的な発言を奨励することによつて頭脳に連鎖反応的な刺激を与え、旧トウを脱した奇想天外なアイデアをえようとすもの。

阪僑 大阪の出身者で、主として東京に出て活躍している実業家や文化人。朝日、毎日、産経などの新聞が顕著な例だが、由来、東京の、とくに商業やサービス業では、人的にも資本的にも関西勢の進出がいちじるしい。ことに戦後には東京の江戸好みないし

山の手好みの商法が、大阪の庶民的、実質的な商法に押しまくられている感が深い。その先兵が阪僑である。大宅壮一氏の造語で、いうまでもなく華僑をもじつたもの。

京葉工業地帯

千葉県市原町、五井町両地区の海岸に予定されている一八五万坪の埋立地にできる新工業地帯。農水産業を主としていために全国でも一二を争う貧乏県である千葉県が、県財政をゆたかにするため大工場を誘致しようとしたのはすでに大分古く、二六年には川崎製鉄がその第一陣として、千葉港にのぞむ旧日立航空跡の埋立地に進出したが、たまたま東京通産局でも京浜地帯からあふれた工場を建設する土地を物色中、千葉海岸に目をつけたことから前記の海の埋立と工業地帯化が急速に具体化し、三九年度完成の予定で、三二年から工事が開始された。完成のあかつきは、三井造船、古河鋳業、古河電工、富士電

いるが、その第七条に、「この協定は、日本国とソヴェト連邦との間の平和条約の効力発生の日又は外交関係の回復の日に効力を生じ、五年間効力を有する」とある。

日ソ漁業委員会

日ソ漁業条約の第三条によつて「北太平洋日ソ漁業委員会」が設けられることになつてゐる。委員会は両国それぞれ三名からなる政府任命の委員をもつて構成し、毎年一回会合してサケ、マス、カニ、ニシンなどの資源保護や漁獲制限などについて協議する。第一回委員会は三二年二月開かれ、四月に妥結、同年サケ、マス漁獲量は日本側十二万トンに妥結した。第二回委員会は昭和三三年四月、モスクワで開かれ、十一万トンを決定した。

ハバロフスク事件

五五年一二月ソ連領ハバロフスク日本人収容所に起つたスト事件。過度のノルマに耐えきれず、収容者たちはブルガーニソ首相らに待遇改善を要求、

現地当局に握りつぶされたのを知りヘンストに入り、内務次官パシコフ中將の来所で日本人の要求が通り解決した。

日米関係

平和条約第三条

琉球諸島及び小笠原諸島等の地位に就て規定してゐる。即ち米國が此等諸島を自國の信託統治の下に置こうと提案したら日本はそれに同意する。このよくな提案がなされ、それが可決されるまでは、米國は領水を含むこれら諸島の領域及び住民に対して、行政立法及び司法上の、いつさいの権力を行使する権利を持つ。規定は以上の如くだが、米國はまだこれらの島々を信託統治の下に移そうとしてゐない。

沖繩問題

沖繩で米軍と住民との間に軍事基地の用地に關して紛争が生じ、これにからまり沖繩に対する日本の立場が問題になつた。平和条約第三条によつて沖繩は現在米國の行政・立法・司法権の

下にある。ここに米國は基地を建設し、その用地を戦争中の占領以來保持し、或はその後住民より接收したりしてゐる。住民は四原則を掲げて反對した。しかし米國はプライス勸告(プライス報告の項参照)の線に沿つて、あくまで既定方針通り進む事を決めた。こういう問題に対して、日本政府が介入する事が出来るかが問題になつた。沖繩は、日本の潜在主権の下にあり、且つ住民は日本の国籍を持つので、日本政府が外交保護権を持つという考えと、アメリカは住民にも行政権を行使できるからアメリカ国籍をも事実上持つ事にもなり、國際法上二重国籍をもつ人の取扱ひ方に従い、日本政府は介入できないという考えである。尤も介入できるといつても、接收に際して、住民が、米國民と平等な扱いを受けているかどうか、或は住民の人権を害しないかどうかという事等に關してであつて、接收地は米國

平和条約第二十六条

日ソ交渉を中斷してロンドン、スエズ國際會議に出席した重光外相が、八月一九日同じく同會議に出席中のダレス米國務長官と会見した際、外相が交渉妥結のためには領土問題に關するソ連案を認めざるをえないとして了解を求めたのに対し、ダレス長官がこの平和条約第二六条を指摘して、クナシリ、エトロフ兩島のソ連歸屬に強く反對した。すなわち、同條の後段に、「日本國が、いづれかの國との間で、この條約で定めるところよりも大きな利益をその國に与える平和処理または戦争請求權処理を行つたときは、これと同一の利益は、この條約の當事國にも及ぼさなければなら

学校での学級を単位として作られ、赤十字の精神にのっとり、心身の健全、社会奉仕、国際理解をふかめようとする目的をもつ組織。その活動は、学校での学習を社会化する方法でおこなわれる。

世界の教育

カウンティ・カレッジ (County College) バトラ

一法によつて定められ、一四八年から実施されたイギリスの勤労青少年教育機関。継続教育のスローガンのもとに、全日制の学校へいけない一八歳までの青年全部に、一定期間、昼間授業により高等教育をうけさせる。そのために、各地方、雇業者、父兄などにたいし、その教育がスムーズにおこなわれるような環境設定の義務をおわせて、いちじるしい教育効果をあげている。

コムソモール (Komsomol-MOR) ソヴェトの共産主義青年同盟の略称。一五—二六

歳の青少年を組織し、マルクシズム教育をほどこし、将来のよき共産黨員たることを期待する。ピオニールの指導にあたり、また学校教育機関の運営にも代表を送つて参加している。

話題のことば

民編国営論 (教科書の)

現行の教科書検定制度をやめ、編集は現在のように民間の手でやらせるが、その採択と販売とは国が管理しようという案。自民党の文教政策の一で、現政府が実施しようとしているもの。この案の背後には、大教科書会社の独占的意見が反映しているともいわれている。これによつて教科書のねだんが安くなり、転校などで教科書がかわるなどの不便を避けられるというが、じつさいには、そんなに安く

なるものでもなく、むしろ無償配布を考へるべきであり、また、現行ですら教科書の内容が逆コース的な書きかえを

強いられているのに、この案のようになれば一そうその都合が強くなり、ひいては、教科書が教育現場の実情を離れた、むかしのよう画一的、固定的なものになる危険が多いことが指摘されている。

五年一貫制 一九五一年

はじめられた新中国の新学制。それ以前つづいていた小学校の初級小学四年、高級小学二年という制度を廃止、七歳から五年間一貫した制度にあらためた。しかし、五年の末、この制度が、経済建設のテンポとあわないところから、しばらく停止することになり、経済発展のテンポの早い都市、工産業地帯、および農村の完全小学校(初級、高級をあわせたもの)をまず第一段階として整備するようにきめられた。

カタカナ先習論

現在の学制になるまえまでは、国語教育はまずカタカナ文字を教えることからじまつたが、六三制になるとともに、カタ

カナは日常生活ではあまり使われなくなっているから、余分な負担をかけるよりも、はじめからヒラガナを教えたほうがよいということ、カタカナは小学校低学年では教えないことになつた。ところが、これにたいし、おもに心理学者のヒラガナよりも分節化した文字構造をもつているから、幼児にとつてはヒラガナよりも覚えやすい、だからまずカタカナを教えて、子どもにもコトバをなれさせるほうが、国語教育にたいしてプラスになるという意見が出されている。これをカタカナ先習論といっている。

格づけ内申書制

大学入試で進学適性検査の画一的実施は廃され、そのかわり、高校からの内申書を重くみるようにされたが、このばあい、内申書に五段階の格づけをして提出することが大学側からもとめられている。これを格づけ内申書というが、高校側